



シドニーボンダイビーチ_銃乱射テロ犯父子



何じゃこれ？ニコニコニコリ_高市&吉村

今年も残すところあと 10 日、すっかり年末年始気分になりつつあります。先週金曜、京都で血圧計や電子部品などを製造しているオムロン(株)の工場見学と京都駅近くにあるオムロン本社ビルに隣接する研修センターを借りての日本分析化学会スクリーニング分析研究懇談会というセミナーに参加してきました。僕にはあまりオムロン社の予備知識がなく、我が家で使っている血圧計とか体温計のメーカー程度のイメージでしたが、創業 92 年、グループ会社 165 社、年商 8018 億円、社員 2.7 万人で世界各国に制御機器、ヘルスケア、社会システム、電子部品、データソリューションなど幅広い事業展開している大企業でした。オムロン社は社会福祉法人“太陽の家”という障害者に職業訓練をしている団体と 50 年前からタイアップして“オムロン太陽(株)”という電子部品製造の会社を運営していて、工場内での障害者雇用比率は 65%以上で創業当初から黒字経営でスタートしているそうです。実際に工場内を案内してもらいましたが、身体的あるいは精神的な障害を持つ人たちが車イスや片手だけあるいは両手のない人たちが、自分の能力でできる仕事を一生懸命作業し、ミスなく作業している姿に心を打たれました。彼らが健常者と同じスピードで作業できるように、工場独自の装置開発で製造ラインの自動化がされていて、僕の人生観が大きく変わりました。オムロン及び太陽の家の創業者の魂が企業規範にみごとに反映され脈々とその精神が継続されていました。久々に“感動”を体験させていただいた貴重な時間を過ごすことができました。現在は税金で運営している社会福祉法人と営利目的で事業をしている企業のコラボを国一厚労省？一が否定的で、この形で運営しているところは法整備前に立ち上げたオムロン社だけだとのこと。メリット、デメリットはあると思いますが、何か起きた時に責任を取りたくない“お役所”の臭いがプンプンしています。

14 日、オーストラリア・シドニー近郊のボンダイビーチで事件では 15 人が殺害され、数十人が負傷する悲惨な銃撃テロ事件が起きました。犯人は“反ユダヤ主義”のイスラム教徒の父子で、50 歳の父親は現場で警察と撃ち合いとなり死亡し、24 歳の息

子は拘束されたようです。当日ユダヤ教の祝祭ハヌカ初日を祝うイベントに集まっていたユダヤ人コミュニティーを標的にした襲撃だったとみられています。息子のナヴィード被告は、殺人の意図をもって重大な身体的損傷を与えた罪 40 件に加え、禁止されているテロ組織の象徴を公然と表示した罪 1 件にも問われていて、死亡した 15 人には、2 人のユダヤ教の宗教指導者とホロコースト生存者、そして 10 歳の少女が含まれているそうです。オーストラリアでは一昨年、パレスチナ自治区ガザでイスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘が激化して以降、ユダヤ系住民が多く暮らす地域で放火などの事件が相次いでいたことから、さらなる事態の悪化を危惧していたところでの事件発生となったようです。

こちらはどうでもいいような話？ですが、先月タイで開催されたミス・ユニバース世界大会に出場した 22 歳のフィンランド代表の目尻を引っ張る画像が SNS で拡散され、人種差別だとして炎上しているとのこと。何でもこの“slanted eye(つり上がった細い目)”のポーズは、歴史的にアジア人をあざ笑うのに使われてきたそうです。その後、彼女は、ミス・フィンランドの王冠を剥奪されたそうです。こうした中、王冠剥奪はやりすぎだとして、彼女を支持するフィンランドの右派議員 2 人が、同じジェスチャーをした写真を投稿しましたが、批判を受けて削除されました。たしかフィンランドって人種差別などに対してとても寛容なお国柄だと聞いていましたが、こんなバカバカしいことで話題になるというのは、とても不名誉なことですね。でもこんな話題はすぐに忘れ去られてしまう今の時代のように思われます。もっと深刻なことが世の中にはたくさんあります。

公明党と入れ替わり、自民と連立を組んだ日本維新の会、どうも党内部の雲行きがあやうくて、ホントいつまでくっついていられるのか疑問です。藤田文武共同代表も吉村府知事もイマイチ名に考えているのか、さっぱり分からんの世界です。大阪維新から全国区で日本維新をめざしたはいいのですが、参政党よりジリ貧であることは確かです。東京新聞“熱風涼風”で石丸次郎さんがこんな論評をしていました。

熱風涼風 12月18日付

大阪で陰りを見せる維新

石丸 次郎 — アジアプレス —

「なぜ大阪の人は日本維新の会を選ぶの?」。大阪に住む筆者は最近、こんな質問を度々受ける。藤田文武共同代表が、公設秘書が代表の会社に公金でビラなど印刷物を 1500 万円以上発注、奥下剛光衆院議員は、政治資金からキャバクラやショーパブなどに 12 万円以上を支出していた。そんな不祥事が騒ぎになってのことだ。

これこそ「公金ジャブジャブ」で、何が「身を切る改革」かと憤慨するのは当然だが、筆者は「またか」とあきれられるばかりである。おおむね不起訴に終わっているとはいえ、維新は政治資金の報告書への不記載、自分で自分に発行した「セルフ領収書」、旧文通費の他用途への出金などで刑事告

発された事案は枚挙に暇がない。また自治体の首長や議員のパワハラ、セクハラ、カネの問題などで維新からの除名される事件も後を絶たない。不祥事が多すぎて驚かなくなった。

とはいえ、大阪での強さは圧倒的だ。衆院は是全 19 選挙区を制覇。参院は選挙区定数 8 人のうち 4 人を占める。さらに府知事に加え、大阪市長はじめ府内の 43 自治体のうち 16 が維新勢。だが党勢にははっきり陰りが見える。7 月の参院選の得票率は 3 年前から半減したし、最近の自治体の議員選では落選が目立つ。橋下徹氏らが大阪維新の会を立ち上げたのは 2010 年。改革の主張が支持を得たが、かつての熱気はもうない。大阪での維新のイメージは「自分には甘く、既得権の拡張に熱心な勢力」というものになりつつあると感じる。

もうこれについては、石丸さんの考えに同調するしかありません。個人的には、橋下さんも大キライ。だまって吉本興行所属のお笑いタレントととして、民放のコメンテーターでガッポリ稼いでいてくださいとお願いしたいところです。何だかんだ言ったって今の日本維新の会を創ったのはアナタでしょ。外野でいろいろ批判しよているフリをしていますが、所詮アナタも“同じ穴ムジナ”だということを肝に銘じて言論してください。もう一つ同じテーマで東京新聞“本音のコラム”三木義一さんがこんな論評を展開しています。

やはり維新も下駄の雪？

三木 義一 — 青学大名誉教授 —

「う〜ん、やっぱりな〜。そんなにまでして政権にとどまりたいんだ」

「おや、ご隠居、何のことで？」

「高市首相と日本維新の会の吉村代表の会談さ。維新があんなに大騒ぎした衆院議員の定数削減法案は、今国会での審議入りがだめになった。それなのに、野党のせいだとして、高市との連立は維持するんだそうさ。幽霊の正体見たり枯れ尾花かの〜」

「確か、11 月にも維新にとっては屈辱的なことがあったんでは？」

「ああ、あの維新を除名された 3 名と自民が会派を組んだことだね」

「維新が協力してやっているのに、そこを除名した連中と自民が会派を形成するなんてあつしなら、それだけで啖呵を切りますぜ」

「そうしたかもしれないが、連立の甘い蜜も吸いたいのじゃろう。国保の不正も話題になっておるので、連立しておいた方が安全なんだろう」

「公明さん同様、踏まれてもついてゆきます下駄の雪ですね」

「高市は下駄では歩かない。危ないバイク運転だ。だから、別の表現ができないかな。AI ちゃんに相談してみよう。お〜、これがいいかも」

「AI が提案？」

「パンクした時だけ必要とされるが、普段は放置されているやつだと」

「てへ、あれですね。使われないまま劣化するのがスペアタイヤ維新！」

今国会が閉会しましたが、最終的に国民民主党が与党案が予算案賛成合流し、結局ほとんどの法案が次回持ち越しみたいになりました。予算の中身を見ると、イケイケのようですが、財源をどうするという見込みは霧の中みたいです。先日亡くなった森永卓郎さんの著書を読むと、財務省にはお金がたっぷり眠っているとのことなので、それを信じて僕はそんなに心配はしていませんが、少数与党で野党の言い分も聞かなきゃという高市首相の暴走の大盤振る舞い、その手腕は得とお見せいただきたいものです。

何回もクドクド言ってますが、選択的夫婦別姓、これは“旧姓の通称使用の法制化”では絶対ダメなんです。別件で“核保有すべき”と記者団にオフレコで発言した“政府高官”とやらがいるようですが、それ誰なのか名前ぐらい出してクビにしてもおかしくないほどの暴挙でしょ。選択的夫婦別姓をコソッと文書に加えた官僚も同罪ですよ。そんなんを東京新聞“本音のコラム”齋藤美奈子さんがスパッと斬りさいていました。

トップの暴走 12月17日付

齋藤 美奈子 — 文芸評論家 —

「こんなん入れて大丈夫なんですかね」「だって入れておかないと、総理に怒られるじゃないですか」「たしかに」

こんな会話が内閣府で交わされたかどうかは知らないが、というわけで男女共同参画答申案に突然加えられた「旧姓の通称使用の法制化」。首相に付度したのはよかったが、おかげで有識者会議のメンバーだった芳野友子会長に叱責されるハメになった。

一方、こちらは辻元清美議員の質問主意書を受け取った内閣府。「どうですか、これ。例の存立危機事態の件ですが」「正直にいうしかないっしょ」「でも総理のアドリブだったとバラして大丈夫ですかね」「大丈夫も何も、用意した紙を無視したのは総理なんだから」「たしかに」

という会話が合ったかどうかは知らないが、かくして開示された、首相の答弁とは異なる内容の答弁資料。あの答弁は私たちのせいではないですよという事務方のアピール、それとも弁明？

いずれにしても官僚諸氏の心の声が聞こえるようだ。めんどくさっ。

つまるところ、高市首相にはそれまで積み上げてきた議論をぶち壊すイレギュラーな発言が多すぎるのだ。石破前首相は独自カラーを出せずに退陣したが、高市首相はカラーを出しすぎ。まるで暴走トラックだ。迷惑すぎるのは国民である。大事故になる前に誰か停止させて。

名画“スタンド・バイ・ミー”の監督、ロブ・ライナー監督夫妻が息子に殺害されるという痛ましい事件が起きました。そのことについてもトランプ大統領が SNS に“トランプ錯乱症を患ったことが原因だ”と投稿したとか…、故人に対して国のリーダーが言う言葉か？また、側近のワイルズ大統領補佐官は、アルコールを口にしないトランプさんを“アルコール依存症のような性格”だと言ったとか。確かに酔ってる！他にも副大統領のバンスさんやイーロン・マスクさんもコケにしているみたい、ん～？どんなお国なの？